

がんけん

眼瞼けいれん・片側顔面けいれん相談シート

あてはまる項目にチェックをして、医師にご提示ください。

がんけん

眼瞼けいれんによくみられる症状

- 光がまぶしい
- 目が乾く感じがする
- 目を開けているのがつらい
- 意思とは関係なく目をつぶってしまう
- まばたきの回数が多くなった
- 以前のように自然なまばたきができない



詳しくはp5へ

へんそくがんめん

片側顔面けいれんによくみられる症状

- 目を開けているのがつらい*
- 片目だけつぶってしまう
- まぶたがピクピクする*
- 目や目の周囲に違和感や異物感がある
- 顔がひきつったり、こわばったりしてゆがんでしまう



詳しくはp9へ

* 症状は片側のみ



光がまぶしい
目が乾く
まばたきの回数が
多くなった



まぶたがピクピクする
片目だけつぶってしまう

改訂版「ほほえみ」

その症状、

がんけん

「眼瞼けいれん」や

へんそくがんめん

「片側顔面けいれん」 かもしれません

目次



- P.2 まぶしくて目が開けられないのは、
「眼瞼けいれん」が関係しているかもしれません。
顔や目のピクピクは、
「片側顔面けいれん」が関係しているかもしれません。
- P.3 このような症状はありませんか？
- P.5 「眼瞼けいれん」って、どんな病気？
- P.9 「片側顔面けいれん」って、どんな病気？
- P.13 検査はどう進めるの？
- P.15 どんな治療法があるの？
- P.17 似た症状には、こんな病気もあります。
- P.18 ひとりで悩まず、ぜひ一度、
専門医にご相談ください。



まぶしくて目が開けられないのは、
「眼瞼けいれん」が
関係しているかもしれません。

顔や目のピクピクは、
「片側顔面けいれん」が
関係しているかもしれません。

電気の光がまぶしくて目が開けられないことはありませんか？ドライアイにも似た症状ですが、ドライアイの治療をしても症状が良くならない場合、診断の見直しが必要です。また、疲れたりすると、まぶたや目のまわりがピクピクすることはよくあることですが、その症状がいつまでも治らなかったり、症状の範囲が広がったりしたら、治療を検討する必要があります。

こうした症状の多くは、命に関わるものではありませんが、放っておくと日常生活に大きな影響を与えかねません。病気かどうかを正しく認識して適切な対処をするためにも、まずこうした症状をきちんと把握する必要があります。「もしかしたら私のこの症状って…？」と思っていらっしゃる方は、ぜひ一度、この冊子でチェックしてみてください。

このような症状 はありませんか？



がんけん 眼瞼けいれんによくみられる症状

- 光がまぶしい
- 目が乾く感じがする
- 目を開けているのがつらい
- 意思とは関係なく目をつぶってしまう
- 片目だけつぶってしまう
- まばたきの回数が多くなった
- 以前のように自然なまばたきができない
- まぶたがピクピクする
- 点眼治療では改善しない症状がある
- 目や目の周囲に違和感や異物感がある
- 口元がピクピクする

詳しくはp.5へ

がんけん へんそくがんめん
眼瞼けいれん、片側顔面けいれんは、とくに50
女性に多くみられます。どちらの病気もそのま
気になる症状がありましたら、早めに専門医に

目が乾く感じがする、
ク動く、こんなことはありませんか？
けと思いこんでいませんか？
気が隠れているかもしれません。



へんそくがんめん 片側顔面けいれんによくみられる症状

- 目を開けているのがつらい*
- 意思とは関係なく目をつぶってしまう
- 片目だけつぶってしまう
- まばたきの回数が多くなった
- まぶたがピクピクする*
- 目や目の周囲に違和感や異物感がある
- 顔がひきつったり、
こわばったりしてゆがんでしまう
- 口元がピクピクする*

* 症状は片側のみ

詳しくはp.9へ

～70歳代の中高齢者に発症することが多く、
ま放っておいても自然に治る病気ではありません。
相談しましょう。

Q

がんけん
「眼瞼けいれん」
って、
どんな病気？



A

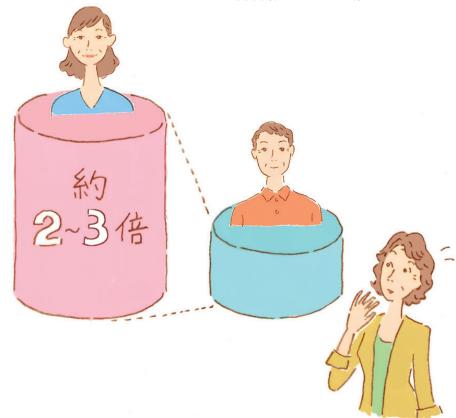
自分の意思に関係なく、
自由に目を開けることが
しにくくなったり、
まばたきが増えたりする
病気です。

がんけん
眼瞼けいれんの症状は目に現れます
が、原因は目やまぶたにあるのではなく、
脳内から正しい指令が伝わらず、
目の開閉がうまく機能しなくなる
ものです。

中高年の女性に多くみられます。

がんけん
眼瞼けいれんは、**50～60歳代**の、特に**女性**に多くみられる**病気**です。まれに、20歳代でも起こることがあります。また、女性のかかる割合は、**男性の約2～3倍**といわれています。

日本神経眼科学会眼瞼けいれんガイドライン改定委員会。
眼瞼けいれん診療ガイドライン 第2版(2022), 日本神経眼科学会, 神奈川, 2022
若倉雅登. 日眼会誌. 2005;109:667-680



がんけん
眼瞼けいれんは、過剰なストレスや一部の睡眠導入薬が
誘因になることもありますが、**普通に生活している方にも
多い**病気です。



初期にはドライアイと似通った症状がみられます。

初期には

まぶしい、目を開けているのがつらい、目が乾くなど多様で、ドライアイと似通った症状がみられます。

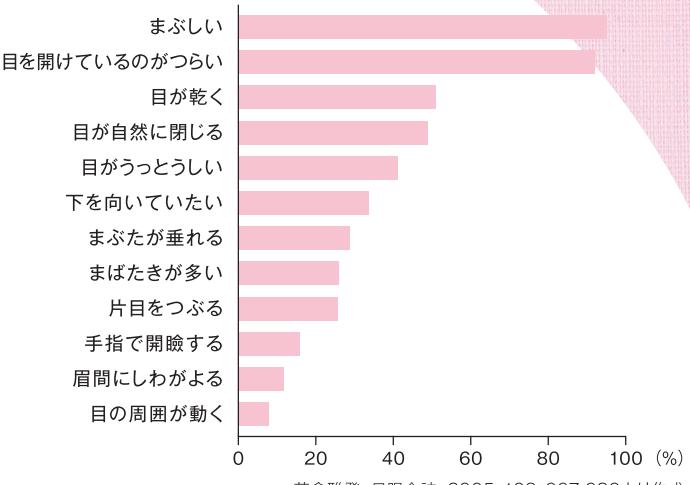


進行すると

自分の意思で目を開けようとしても、目を開けられなくなり、手を使って開けなければならない場合もあります。



■眼瞼けいれんの訴え



症状が進行すると、
まぶたが開かなくなり、
目が見えない状態になります。

目の違和感、あきらめていませんか?
下記項目にあてはまるものがあったら、
一度医師にご相談ください。

- ・ドライアイの治療を受けても治らない
- ・更年期の症状だとあきらめている
- ・目が開けづらいので外出をひかえている
- ・まぶしくて帽子やめがねが手放せない
- ・市販の目薬ではあまりよくならない
- ・人ごみで人やものにぶつかる、またはぶつかりそうになる
- ・危険を感じるので車や自転車の運転をしなくなった

へんそくがんめん 「片側顔面けいれん」 って、 どんな病気？



自分の意思に関係なく、
顔の片側の筋肉が
ピクピクする病気です。

顔面神経は、目をつぶったり、口の開け閉めや笑う時に使う筋肉を動かす神経です。通常、この神経は自分の意思で働きます。ところが、この病気の場合、顔面神経が何らかの原因で隣り合っている血管に刺激され、自分の意思に関係なく目のまわりや口・ほお・あごの筋肉が動いてしまいます。

中高年の女性に多くみられます。

へんそくがんめん
片側顔面けいれんは、50～70歳代の、特に**女性**に多く
みられる**病気**です。
女性のかかる割合は、男性よりも多いといわれており、
約7割が**女性**です。

日本神経治療学会治療指針作成委員会. 神經治療. 2008;25:478-493
若倉雅登. 日眼会誌. 2005;109:667-680



へんそくがんめん
片側顔面けいれんは、ほとんどの場合、顔の左右片側、
どちらかに起こる病気です。放っておいても、**自然に治る**
病気ではありません。



へんそくがんめん
片側顔面けいれんの主な症状

初期には

主に顔の片方の目の周囲、口がピクピクします。



進行すると

症状が頻繁に起こり、目の周囲や口、ほお、あごの筋肉がひきつります。



へんそくがんめん
片側顔面けいれんは、眼瞼けいれんを合併することがあります。

へんそくがんめん
片側顔面けいれんの特徴

- けいれんは眼瞼より始まり、進行すると他の顔面筋にひろがる。
- 多くは片側性であるが、両側性のこともある。
- 眼瞼けいれんを合併することがある。

目崎高広ほか. ジストニアとボツリヌス治療(改訂第2版).
診断と治療社, 東京, 2005:188-213より作成

症状が出やすいのはこんな時！

- ・緊張している時
- ・食事の時
- ・笑った時
- ・人と話している時



検査は どう進めるの？

まず、患者さんのお話をよく聞きます。

どのような症状がどこに、いつ、何回出るか、困っていることは何か、などをお尋ねします。診察中には困っている症状が出ないこともあります、お話の中からわかる場合もあります。



がんけん
**眼瞼けいれんの検査も、
へんそくがんめん
片側顔面けいれんの検査も
簡単なものです。**

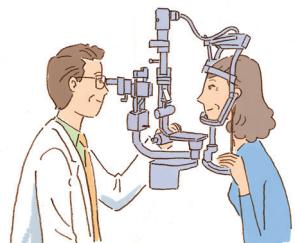
まばたきテストなどを行って確認します。

●眼瞼けいれんが疑われる場合

軽くて歯切れのよいまばたきができるか、目を開けるのに困難はないかを、まばたきテストで診断します。さらに、患者さんの訴え以外の病気を見落とさないように、目の検査(視力、目の表面をみる検査など)やドライアイと似ている場合もありますのでドライアイの検査も行います。がんけん
眼瞼けいれんは、脳内から正しい指令が伝わらず、目の開閉がうまく機能しなくなるものです。普通のCTやMRI検査では異常はみつかりません。

●片側顔面けいれんが疑われる場合

ピクピクが出やすい状態を誘発させて観察することで、診断ができます。さらに、脳内の血管が顔面神経を圧迫



している状態はないか、けいれんを起こす別の脳の病気はないかなどを調べるために、頭部のCTやMRI検査を行います。



どんな治療法があるの？



専門医と十分に相談して、自分に合った適切な治療法を選びましょう。

おくすりによる治療

●ボツリヌス療法

がんけん へんそくがんめん
眼瞼けいれん、片側顔面けいれんの治療にはボツリヌス療法があります。この治療法は、緊張している筋肉に緊張をやわらげるおくすり(ボツリヌストキシン)を注射することできれんや収縮の原因になっている神経の働きを抑え、緊張しすぎている筋肉を緩めるものです。

●内服薬による治療

がんけん へんそくがんめん
眼瞼けいれん、片側顔面けいれんのいずれにも、症状に応じて内服薬を使うことがあります。

手術による治療

がんけん
眼瞼けいれんには、まぶたが開きやすくなるように、まぶたの筋肉や皮膚を短くする手術があります。片側顔面けいれんには、耳の後ろの髪の生え際付近を小さく切開し、顔面神経とその神経を圧迫している血管とを離して、神経に対する刺激を遮断する手術があります。

その他

がんけん
眼瞼けいれんでは、上まぶたをおさえるクラッチめがねや遮光レンズが症状を軽減させることができます。

似た症状には、 こんな病気もあります。

がんけん へんそくがんめん
眼瞼けいれんと片側顔面けいれんの症状はよく似ていますが、その他にもこれらと似ている症状を示す病気がいくつかあります。

●眼瞼ミオキミア

疲れや睡眠不足などがきっかけで、左右片側の上または下のまぶたの筋肉の表面がピクピクしますが、やがて症状は消えます。

●ドライアイ

まぶしい、目が乾くなどの自覚症状が眼瞼けいれんと一緒に似ています。しかし、眼瞼けいれんはドライアイの治療では治りません。

●開瞼失行症

いったん閉じたまぶたを開くのが困難になる症状がみられます。眼瞼けいれんと合併することが多い病気です。

●チック

へんそくがんめん
片側顔面けいれんと同じようなまばたきや顔しかめなどの症状が出ますが、自分の意思でコントロールでき、けいれんの場所が移動するのが特徴です。

これらの病気は、それぞれ治療法が異なります。
顔の運動異常の症状が現れたら、自分で判断せずに、まずは眼科や神経内科、脳神経外科などの専門医を受診しましょう。

ひとりで悩まず、ぜひ一度、 専門医にご相談ください。

がんけん へんそくがんめん
眼瞼けいれんと片側顔面けいれんは、視力を失ったり、生命に関わる病気ではありませんが、そのまま放っておくと、さらに症状が進行してしまう可能性があります。緊張したり、心配事があったり、憂うつになると症状が悪くなることがありますので、心を平安に保つことも大切です。

この冊子を読んで気になる症状があれば、なるべく早めに専門の医療機関(眼科、神経内科、脳神経外科など)で受診し、医師に相談されることをお勧めします。

